

学校関係者各位

学校法人未来学舎  
松本情報工科専門学校  
学校長 田中 正吉  
(公印省略)

## 「2022年度 自己点検評価報告書」の公表について

2022年度における当校の自己点検・評価を行い、結果を報告書としてまとめましたので、公表いたします。報告書の改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育活動の更なる向上をめざします。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 概要

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

大項目	前々回平均 R02年3月	前回平均 R03年3月	今回平均 R04年3月	平均点の概要説明
1. 教育理念目標	3.2	3.3	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
2. 学校運営	2.8	3.1	3.1	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
3. 教育活動	3.3	3.4	3.5	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
4. 学修成果	3.1	3.3	3.1	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
5. 学生支援	2.8	3.0	3.1	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
6. 教育環境	2.8	3.2	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
7. 学生の受入れ募集	3.1	3.1	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
8. 財務	3.1	3.1	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
9. 法令等の遵守	3.1	3.2	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
10. 社会貢献地域貢献	3.0	3.2	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
学校全体	3.0	3.2	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
現 状	各評価値は例年と同等以上となっている。すべての学科で専任教員が3人、広報担当が専任職員として整った年であった。情報システム学科 (SYS)の安定とスポーツバイク学科 (CYC)の増加により、募集の評価は上昇。自動車整備学科 (MCH)の減少に歯止めがかからない。MCHとCYCは設備投資の費用はかさむものの継続的に投資をしてきた。ADHDなどの学生への教授方法や、心の問題を抱える学生への対応に難しさを感じている。			
今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車整備学科の学生増が最大の課題であるが、社会情勢的な難しさを感じる</li> <li>前期と後期の切り替わり時期と授業科目の切り替わり時期が一致していない点は、少しずつ改善しながら3年後の自動車整備学科の新カリキュラム作成時期に合わせて完了させる予定。</li> <li>校務分掌に基づいた職務徹底を図る</li> </ul>			